

150万本のチューリップ畑は「球根」の為に存在する…!?



五泉市では主にチューリップの「球根」が商品のため、球根が一番育てる生産方法をします。

▼生産の流れ

- 10月中旬～下旬 球根植え付け
 - 4月上旬～中旬 チューリップが咲く
 - 4月中～下旬 葉っぱ残して花摘み
 - 6月 収穫・自然乾燥
 - 7月 調整作業(古皮取り、選別)
 - 7月 取扱業者へ出荷
- (NBA新潟県花卉球根農業協同組合など)
秋頃に皆さんのお手元に購入できます。

どの種類のチューリップなのかは、花が咲くまで確定できない!?

チューリップは球根の状態ですと、どの品種かは見分けがつかないため、一度花を咲かせないと色と品種を確定できません。私たちが春に楽しむチューリップ畑は実は生産工程のひとつです。花が咲くと、品種を確定できるほか、病気になっていないかも確認できます。病気や異なる品種が入ってれば、取り除かれます。品質確保のため、花が咲くと検査員による検査が行われ、球根に栄養が行くように、光合成のできる葉っぱを残し、花が散る前に花摘みをします。

「チューリップの産業? ってことは切花かな?」 っと思いきや、主には「球根」の生産です。五泉は花き球根の産地として、質と量がともに全国トップクラスに名をつらねています。五泉の菓本地区は、阿賀野川と早出川にはさまれたところにあり、その昔川が氾濫したことで、砂地の土壌となり、水はけがよく、球根が腐りにくいため、チューリップの栽培にたいへん適しています。



球根のためだけじゃもったいない! チューリップまつり開催

五泉市では生産者に依頼してチューリップの畑を菓本地区の1ヶ所に集め、チューリップまつりを開催しています。150万本のチューリップ畑には、毎年多くの方々が市内外から訪れます。花の抜き取り販売やポット販売も行われています。(毎年の開花時期が気候により異なる為、会期は五泉市公式HPをご確認ください。)



連作できないから

会場は毎年少しずつ違う

チューリップは連作すると土の中に病気が出るため、チューリップまつりも毎年少しずつ場所を変えながら開催しています。

五泉市のチューリップは花壇・公園用がほとんどで、ポリウムがあって美しい! 花期には道端にもチューリップが設置されますので、ぜひ見に行ってください!



移住定住支援サイト
五泉にきなせや!

note



協力隊
Facebook



協力隊
Instagram

五泉市地域おこし協力隊はSNSを通して、五泉市の魅力を発信中です!

「いいね!」「フォロー」
お待ちしております!

